

令和5年度 第8回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和5年11月17日（金）午後1時30分～午後4時15分

会 場 下野市役所3階 303会議室

出席委員 教 育 長 石崎 雅也 職務代理者 永山 伸一
委 員 石嶋 和夫 委 員 佐間田 香
委 員 川田 玲子

出席職員 教育次長 近藤 善昭
教育総務課長 高山 正勝
生涯学習文化課長 根本 宣明
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 伊藤 隆行
教育総務課課長補佐 平野 享
学校教育課主幹兼管理主事 小野 慎吾
学校教育課主幹兼指導主事 水本 百合子
教育総務課主事 慶留間 遥
欠席職員 学校教育課長 石島 直

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和5年12月20日

教育長の報告

報告第44号 下野市教育委員会後援名義等の使用承認について
報告第45号 下野市教育委員会後援名義等使用の承認等の状況について
報告第46号 寄附の受入状況について
報告第47号 下野市教育支援委員会の判定結果について（第2回答申）

議 事

議案第37号 下野市学校情報セキュリティ対策基準の一部改正について

協 議

協議第13号 第16回下野市教育のつどい開催計画について
協議第14号 自治医科大学地域医療情報研修センター利用に関する支援について

その他

- (1) 11月、12月の学校訪問について
- (2) 令和5年度下野市教職員全体研修会（研究発表会）の開催について
- (3) 第18回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の開催について

1. 開会
(石崎教育長) ただいまから、令和5年度第8回下野市教育委員会定例会を開会する。

2. 教育長あいさつ
(石崎教育長) 10月13日から本日11月17日までの職務について報告する。

- ・ 10月14日、しもつけ市民芸術文化祭2023開会式が、国分寺公民館大ホールにおいて行われた。
- ・ 10月15日、市民活動センターまつり2023が開催された。
- ・ 10月16日、市小学校陸上記録会が大松山運動公園において開催された。なお、市小学校陸上記録会については、小山市は数年前から実施しておらず、栃木市は旧栃木市域内の小学校において実施しているが、廃止を検討しているということで、下野市も廃止を検討したい旨、担当校長から連絡があった。しかし、市小学校陸上記録会は大松山運動公園の設立目的の1つでもあり、子どもたちの活躍する場が減ってしまっている現状もあるため、慎重に検討するよう指示したところである。
- ・ 10月17日、第2回下都賀地区小・中・義務教育学校長研修会が、栃木市岩舟文化会館（コスモスホール）において開催された。
- ・ 10月18日、第6回市定例校長会議を開催した。
- ・ 10月19日、市教職員協議会对市交渉が行われた。
- ・ 10月20日、南河内第二中学校創立30周年記念式典が開催された。
- ・ 同日、国分寺中学校文化祭（秋輝祭）が開催された。
- ・ 10月21日、石橋中学校文化祭（輝石祭）が開催された。
- ・ 同日、南河内小中学校文化祭（夕顔祭）が開催された。
- ・ 同日、南河内第二中学校（夏椿祭）が開催された。
- ・ 10月23日、「税に関する標語」選定委員会が石橋商工会アイリスホールにおいて開催された。
- ・ 10月25日、第2回人事問題協議会が県庁北別館において開催された。
- ・ 同日、第2回県と市町との教育施策に関する意見交換会が開催された。
- ・ 同日、第2回栃木県市町村教育委員会連合会市教育長部会総会が、宇都宮市役所において開催された。
- ・ 10月26日、南河内小中学校ふるさと学習が、薬師寺跡史跡地において行われた。

- ・ 10月28日、市中学校・義務教育学校後期課程生徒海外派遣事業報告会が行われた。
 - ・ 同日、しもつけ市民芸術文化祭2023「市民の作品展」が、南河内体育センターにおいて開催された。
 - ・ 10月29日、下野市産業祭が大松山運動公園多目的グラウンドにおいて行われた。
 - ・ 10月30日、文部科学大臣表彰「地方教育行政功労者表彰」を受賞された永山委員が、市長を表敬訪問した。
 - ・ 同日、文部科学大臣表彰「スポーツ庁生涯スポーツ優良団体表彰」を受賞された下野市卓球部2名が、市長を表敬訪問した。
 - ・ 11月3日、国分寺小学校運動会が国分寺運動公園において行われた。
 - ・ 同日、「吹奏楽仲間の音楽祭 吹奏楽の日 in グリム」がグリムの森「グリムの館」において開催された。
 - ・ 11月4日、第10回市障がい者スポーツ交流会が石橋体育センターにおいて行われた。
 - ・ 11月7日、小中合同レクリエーション大会が市内各校の特別支援に関わる児童生徒及び保護者を対象に予定されていたが、雨天のため中止となった。
 - ・ 同日、優良中学生表彰式が石橋商工会アイリスホールにおいて行われた。
 - ・ 11月8日、第20回B&G全国教育長会議がベルサール汐留において開催された。
 - ・ 同日、栃木県市町村教育委員会連合会研修会が開催された。
 - ・ 11月9日、第2回学校適正配置基本計画策定委員会を開催した。
 - ・ 11月10日、「税に関する標語」表彰式が、石橋商工会アイリスホールにおいて行われた。
 - ・ 11月12日、栃木SC下野市民デーがカンセキスタジアムとちぎにおいて実施された。
 - ・ 11月13日、県立国分寺特別支援学校小学部の6年生児童を対象に、市児童表彰式を開催した。
 - ・ 11月14日、第2回表彰審査委員会が開催された。
- 以上の報告内容について、質疑等はあるか。

(石嶋委員)

市小学校陸上記録会について、栃木市は旧栃木市の学校のみが継続するということか。

(石崎教育長)

今まで合併前の旧栃木市の学校でのみ、陸上記録会を実施しており、合併後に栃木市となった地域の学校は実施していなかった。今回栃木市の校長会において、今まで実施してきた陸上記録会を廃止する検討が始まっているようである。

他に質疑等はあるか。(特になし)

3. 議事録署名人の選任 石嶋委員及び川田委員を指名

4. 前回議事録の承認

- (石嶋教育長) 前回議事録について、事務局に説明を求める。
(平野教育総務課課長補佐) 令和5年度第7回教育委員会定例会議事録の修正部分について説明を行う。
(石嶋教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
議事録はこのとおり決定とする。

5. 教育長の報告

- (石嶋教育長) 報告第44号、下野市教育委員会後援名義等の使用承認について、説明を求める。
(高山教育総務課長) 令和5年11月現在、新規の後援申請が2件あったため、承認の決定前に教育委員の皆様から意見を頂きたい。申請事業については資料のとおりである。
(石嶋教育長) それではまず1件目について、意見、質疑等はあるか。
(石嶋委員) 地域の力で子どもたちを育てるという趣旨で実施している事業であると思う。しかし、個人的にはこういった活動に対し、教育委員会の後援が必要なのか疑問に思う部分もある。また、参加料が高額な事業に対し、教育委員会が後援を行うことには懸念がある。
(石嶋教育長) 2泊3日の事業とはいえ、確かに高額に見える。参加料について、事務局で詳細な情報は把握しているか。
(高山教育総務課長) 本日提出した資料の予算書に「謝金」の部分があり、これが少々高額だと感じた。しかし、消耗品や施設の使用料は必要であり、また、大勢のボランティアが参加するということであるため、ある程度の金額がかかるのはやむを得ないとも感じている。
(石嶋委員) 「他の後援団体等」の部分に、いくつかの市町の名称が記載されているが、この市町からは既に後援名義使用の承認を受けているのか。
(高山教育総務課長) そこまでは把握できていない。
(佐間田委員) こういった事業に対し、後援の承認を行わないとしても、事業のチラシ等を学校で配布することはできるのか。それとも、教育委員会の後援がなければ、学校での配布は難しいのか。昔は体験事業等のチラシが配布されていたようにも記憶している。配布が可能なのであれば配布しても良いのではないかと感じた。
(石嶋教育長) 原則として、教育委員会や文部科学省が発出した通知以外のもの、特に金銭に関わるものに関しては、配布を行うと、その

イベントを学校が勧めていると捉えられる可能性があるため、児童生徒一人一人には配っていない。こういったイベントの通知については、校舎内に通知を置いておく場所を設置し、興味のある児童生徒に自由に持っていってもらおう方式をとっている。

(石嶋委員)

以前はよく、夏休み前に映画の割引券を児童生徒へ配布していた。しかしそれに対し、なぜ学校で民間事業の券を配布するのかというクレームが来たことがある。そのため、教育長が述べたとおり、校舎内に設置し、子どもたちの自由意思で取ってもらうような形になっているのだと思う。

(佐間田委員)

イベントとしては素晴らしいものであるが、高額に感じる。

(川田委員)

金額としては、家族全員で行けるような金額であると感じる。

(石嶋委員)

このように、金銭が関係するイベントに対し、後援をするのは難しいのではないかと思う。

(永山委員)

まさに教育委員会の後援というのは「学校で配るか、置いておくだけか」という境目と同じものだと思う。教育委員会で後援するということは、「ぜひ行ってください」と教育委員会が勧めているという印象を与えかねないため、慎重にするのがよろしいかと思う。

(石崎教育長)

それでは、委員の皆様の見解により、後援申請を不承認としてよろしいか。(全委員承認)

続いて、2件目について、質疑、意見等はあるか。

(石嶋委員)

資料の中のアンケート用紙に「ご記入いただいた情報はイベントなどのご案内のみに使用させていただくものであり……」と記載がある。そのため、このアンケートに「学習を継続させたい」と回答した方に対し、その後も学習会の案内や諸々の通知の手紙やメールが届く可能性がある。「教育委員会が後援している無料体験だから行ってみただけで、その後も何度も勧誘された」とならないか心配であるため、慎重にするのが良いのではないかと感じる。

(石崎教育長)

それでは、こちらについても後援申請を不承認としてよろしいか。(全委員承認)

続いて、報告第45号、下野市教育委員会後援名義等使用の承認等の状況について、説明を求める。

(高山教育総務課長)

令和5年11月現在、1件の後援申請と1件の後援申請及び教育長賞交付申請を承認した旨、説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、報告第46号、寄附の受入状況について、説明を求める。

(高山教育総務課長)

小山農業協同組合から、児童生徒に対する食育の推進、米への関心の醸成を目的として、石橋地区、国分寺地区の8校へ「とちぎの星」精米290kgの寄附があった旨、報告を行う。

なお、10月12日に教育委員会室において贈呈式が行われた。
(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
(石崎教育長) ここで諮る。報告第47号については、個人情報に関する案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員承認)
それでは、報告第47号については非公開として進める。
(教育長、教育委員、教育次長、教育総務課長、学校教育課指導主事及び事務局職員以外は退出)
報告第47号、下野市教育支援委員会の判定結果について(第2回答申)、説明を求める。

以下、非公開。

(石崎教育長) 続いて、議事に移る。

6. 議事

(石崎教育長) 議案第37号、下野市学校情報セキュリティ対策基準の一部改正について、説明を求める。

(高山教育総務課長) 資料に基づき、下野市学校情報セキュリティ対策基準の一部改正の内容について説明を行う。なお、この訓令は公布の日から施行する。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)
議案第37号を決定してよろしいか。(全委員承認)
議案第37号は原案のとおり決定する。
続いて、協議事項に移る。

7. 協議事項

(石崎教育長) 協議第13号、第16回下野市教育のつどい開催計画について、説明を求める。

(高山教育総務課長) 資料に基づき、第16回下野市教育のつどいの会場、参集者、日程等について説明を行う。

(石崎教育長) それでは、意見等はあるか。

(石嶋委員) 今回は式の時間も短いため、原則的に受賞者の方には、表彰状を受け取った後も、式が終わるまでは参加してもらおうということによろしいか。

(高山教育総務課長) 受賞者の方にも講演を聞いてもらいたいと考えている。また、場合によっては一般の方が講演の時間帯から参加することもあるのではないかと考えている。

(石崎教育長) 大ホールの扉の外に職員が控え、講演のみ聞きに来た方を案内するとよい。

他に意見等はあるか。(特になし)

続いて、協議第14号、自治医科大学地域医療情報研修センター利用に関する支援について、説明を求める。

(根本生涯学習文化課長)

自治医科大学地域医療情報研修センター利用に関し、委員会の意見を求めるため、協議をいただくものである。令和5年第1回市議会定例会において議員から質問があり、その後、当研修センターの大講堂の利用については、自治医科大学との協議を行い、貸出しが可能という回答が得られた。これに基づき、9月23日に大講堂において下野市立学校音楽祭を開催したところである。また、市民や市内団体の活動の場として大講堂を利用することに対し、本市が支援を行い、市内の芸術、文化活動及び地域活動の推進を図ることを目的とし、当研修センターの利用に関する要綱を定めることを検討している。

要綱の概要について説明する。「①芸術・文化に関する活動を行っている者」「②公益上必要と認められる市内又は近隣の情報の発信を行おうとする者」「③市の関係団体等」「④その他市長が必要と認めるもの」を利用者の定義として考えている。②については、市内のコミュニティ団体、自治会等、③については、市の職員が事務局として関わっている実行委員会等を想定している。④については、①から③のいずれにも属さないもので、必要と考えられるものということで予定している。

続いて、利用要件についてである。研修センターの利用に関しては、芸術、文化活動及び地域活動であり、「①主催者、スタッフを合わせて300人以上の参加が見込まれること」「②政治、宗教、営利、販売又は寄付目的ではないこと」「③下野市暴力団排除条例第2条に規定する暴力団等が関与していないこと」「④公の秩序又は善良の風俗に反しないこと」の4つの要件を全て満たす必要がある。また、同じ団体の利用については年度内最大2回までとしている。

利用負担金については、利用許可を得た際、損害保険料を含む利用負担金を前納する。ただし、公益上その他の理由により特に必要があると認めるときは、利用負担金を免除することができることとする。なお、納付された利用負担金は原則返還しないこととする。

利用期間は、研修センターの開館日、開館時間内において、自治医科大学及び同附属病院が利用しない期間とし、最長2日間とする。具体的には土日祝日の中で、自治医科大学及び同附属病院の行事や、工事等のメンテナンスが入っていない日が貸出し可能日となっている。

利用者の義務として、利用規程及び利用許可時の条件を遵守の上、利用いただくこととなる。その他、利用条件に反した場

合には利用許可を取り消すことができるようにしたいと考えている。また、損害保険は市で加入するが、例えば、折り畳みの椅子を相当数破壊した、壁を著しく汚した等、損害保険で賄いきれない場合、利用した方に対し損害賠償を求めることとしたいと考えている。

最後に、負担金についてである。大講堂の1階のみの利用の場合、定員は540人、1日利用で32,000円。大講堂1、2階の利用の場合、定員が800人、36,000円の負担金となる。この他、中講堂大会議室については1日当たり9,000円、第1研修室から第3研修室についてはそれぞれ3,000円、第4研修室と第5研修室についてはそれぞれ1,000円であり、午前9時から午後5時までが1日の単位となる。なお、大講堂以外の施設については、あくまで大講堂利用時に併せて利用することが可能であり、単独での利用は不可とする。

施行日については令和6年4月1日を予定しており、予約や準備を踏まえ、2か月前の令和6年2月1日から対応が可能となるよう整備を進めたいと考えている。

(石崎教育長)

それでは、意見等はあるか。

(佐間田委員)

利用対象者の定義について尋ねる。「①芸術・文化に関する活動を行っている者」については、例えばピアノ教室の発表会などで、300人以上の参加が見込まれば利用できるのか。それとも、「代表者が市内にいる」「活動者が市内にいる」等、別の要件も利用の可否の判断基準になるのか。また「②公益上必要と認められる市内又は近隣の情報の発信を行おうとする者」について、公益上必要か必要ではないかという基準はどこにあるのか、何をもちいて判断するのか、決まっていれば教えてほしい。

(根本生涯学習文化課長)

民間団体から問い合わせがあった場合、まず事前に事業について聞き取りを行い、確実に300人以上の参加が見込まれるのか、過去の実績等を基に判断する予定である。もし参加者数が300人以下になると見込まれた場合は、グリムの館や公民館等、別の施設を案内することを考えている。

施設利用にあたっては、利用者は負担金の1割相当を負担し、残りは市で負担することとなるため、市内で活動している団体なのか、団体の中にどのくらい市民が所属しているのかなど、市民の利益になるかどうかを見極め、判断したいと考えている。

(佐間田委員)

では、例えば一般企業のピアノ教室など、そういった団体は使えないということか。

(根本生涯学習文化課長)

まだ検討段階である。最終的に、こういったものが市民にとって利益になるのか、市の文化振興あるいは地域活動にこういった貢献があるのか、効果の部分事前の聞き取りで確認し、

判断したいと考えている。

(石崎教育長)
(佐間田委員)

他に質疑等はあるか。

もう一点尋ねる。市外のホールを借りる際、例えばピアノや冷暖房の使用料を別に支払うことがあるが、当研修センターはどうなのか。また、駐車場の利用はどのような形になるのか。前回の下野市立学校音楽祭のように、代金を支払い利用するような形になるのか。

(根本生涯学習文化課長)

現段階では、個別のオプション等に関する追加料金はないと聞いている。また、駐車場についてはホールとセットで借用することになるかと思う。しかし、当日大講堂以外で学会の行事等が行われた場合は、駐車場の使用に制限がかかる可能性もある。なお、駐車場は代金を支払い使用することになるかと思う。

(石崎教育長)
(根本生涯学習文化課長)

他に質疑等はあるか。

本日はポイントをかいつまんで委員の皆様にお知らせしたが、次回の教育委員会の際には、要綱の形に整え、改めて提出したいと考えている。

(石崎教育長)

他に意見等はあるか。(特になし)

それでは、私から一点尋ねる。利用対象者の定義に、「④その他市長が必要と認めるもの」という記載がある。先ほど、それぞれの利用者について慎重に見極めるという話があったが、事業を見極め、利用の可否を決定する部署等はどこになるのか。

(根本生涯学習文化課長)

最終的には市長の判断になるかと思う。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、その他に移る。

8. その他

(石崎教育長)
(高山教育総務課長)

(1) 11月、12月の学校訪問について、説明を求める。

資料に基づき、11月、12月に実施する教育委員の学校訪問の日程等について、説明を行う。

(平野教育総務課課長補佐)

補足する。国分寺中学校の学校訪問の時間が前回の通知よりも20分遅くなっているため、今回、学校訪問日程を改めて配布した。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(2) 令和5年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の開催について、説明を求める。

(水本指導主事)

資料に基づき、令和5年度下野市教職員全体研修会(研究発表会)の日程及び実施方法、発表内容について説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(3) 第18回下野市南河内地区一周駅伝競走大会の開催について、説明を求める。

(伊藤スポーツ振興課長)

資料に基づき、第18回下野市南河内地区一周駅伝競走大会

- の日程、会場、参加チーム数について説明する。
- (石崎教育長) 小学生、中学生のチームの内訳はどうなっているのか。
(伊藤スポーツ振興課長) 小学生は、市内7チーム、市外2チームが参加し、中学生は、市内2チーム、市外4チームが参加する。
- (石崎教育長) それでは、質疑等はあるか。
(川田委員) 開会式が8時から、小学生のスタートが9時からとなっているが、小学生の第一走者のウォーミングアップは間に合うのか。開会式には出席せず、先行してスタート地点に向かい、ウォーミングアップをするのか。
- (伊藤スポーツ振興課長) 開会式は南河内公民館の駐車場で行うが、スタート地点は小学生、中学生、一般の部ともに南河内第二中学校の校庭になる。第一走者はスタート地点で準備いただくことになるかと思う。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
それでは、他に事務局から連絡事項はあるか。
- (小野管理主事) 資料に基づき、令和5年度栃木県中学校新人体育大会の結果について報告する。
- (石崎教育長) 先日、市内中学校長と話す機会があり、その中で、体操やフィギュアスケート、水泳など、学校で活動をしているわけではなく、個人で行っている競技であるが、中学校の大会に出場するということで部を設け、先生が引率をしている場合もあるということである。
- (石嶋委員) 先生の引率は必要なのか。
(石崎教育長) 保護者引率が可能な競技もあると聞いている。また、部活動の地域移行の関係で、今後保護者引率が可能になる競技も増える方向である。
他に質疑等はあるか。(特になし)
他に事務局から連絡事項はあるか。
- (近藤教育次長) 第4回教育委員会定例会において、南河内小中学校スクールバス運行規則の改正に伴い、永山委員から上位規程が必要なのではないかという意見があった。現在、南河内小中学校と国分寺小学校の再編や統廃合に伴い、南河内小中学校については通学距離がおおむね2キロ以上の児童、国分寺小については旧国分寺西小の児童の送迎のためスクールバスを運行している。いずれも統廃合に伴い通学距離が延びたということもあり、安全確保のためにスクールバスを運行している状況である。市としても上位規程が必要であるということは認識しているが、それぞれの学校の実情が違っており、他の学校区でも、例えば2キロ以上のところを通学している児童もいる。また、市民から「スクールバスを出してほしい」という要望が挙がることもある。そういった部分もあるため、課題について引き続き検討していきたい。

(石崎教育長) 栃木市、小山市は、上位規程にあたるものを制定していなかった。様々な課題があるのだと思う。

(永山委員) 各校によって状況が違うため、一定の規則を作ることが難しいということで理解した。今後、市民の方から「ここも走らせた方がいいんじゃないか」「ここにも必要なんじゃないか」という意見が出され、それが均一になってくれば、その時点で再検討するということでした。

(石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

他に事務局から連絡事項はあるか。

(高山教育総務課長) 本日書籍を1冊配布した。学校に寄附をしたいということであるため、委員の皆様の内容を確認いただき、寄附の受入が適切かどうか、次回の教育委員会定例会において意見をいただきたい。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

他に事務局から連絡事項はあるか。

(平野教育総務課課長補佐) 本日、下野市学校適正配置基本計画策定委員会全体会の開催通知を配布した。開催日時は12月19日である。会議資料を同封しているため、事前に確認をお願いしたい。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

他に事務局から連絡事項はあるか。(特になし)

それでは、教育委員の皆様から連絡事項はあるか。

(永山委員) 栃木県市町村教育委員会連合会研修会が実施された日、栃木県市町村教育委員会連合会総会にも出席した。各教育委員会からの要望をまとめ、連合会から県に提出している要望書があるのだが、その回答があったため、資料を本日配布した。また、各役員についても改選になったため、そちらについても後ほど確認してほしい。

また、11月14日に開催された栃木税務署管内租税教育推進協議会に出席したが、その中で、税に関する作文の表彰式が行われた。今年度は特に結果が素晴らしく、南河内小中学校9年生の生徒が国税庁長官賞を受賞された。こちらも資料を配布するので、確認してほしい。この生徒については、栃木税務署の一日税務署長も担うということを聞いている。

(石崎教育長) 南河内小中学校の生徒が一日税務署長を担うことについては、栃木税務署長から先日連絡を頂いた。所用があり、直接話は伺えなかったのだが。

資料を見ると、他にも南河内小中学校や他の市内中学校の生徒が受賞している。受賞した16名のうち、5名が下野市の生徒である。

(永山委員) 恐らく、学校全体で取り組んでいるのではないかと考えられる。

(石崎教育長)

他に教育委員の皆様から連絡事項はあるか。

(石嶋委員)

大谷翔平選手が全国の小学校へグローブを寄附するという話が出ていたが、そういった連絡は来ているのか。

(石崎教育長)

今のところ教育委員会事務局には来ていない。

(佐間田委員)

他に教育委員の皆様から連絡事項はあるか。

国分寺小学校の運動会において、来賓の方々と話す機会があった。その際、国分寺運動公園までテントを運ぶのが大変ということで、テントをB&G海洋センターで貸し出してくれると良いという意見があった。確かに小学校や中学校から運ぶのは大変だと感じた。クラブチームが使用する時なども、テントの貸出しがあると便利だと思う。

また、以前の教育委員会で意見をしたが、来年度の子ども未来プロジェクトは、子どもたち自身でテーマを考え、活動することになったそうである。「地域とのつながり」というテーマで活動することであり、私の子どもは今年で生徒会を引退するが、「おじいちゃんおばあちゃんとどんなイベントができるだろう」「小学校とどんなふうにつながったらいいだろう」と、楽しそうに話していた。

子どもたちを信頼し、文化祭の実施方法や校則を変更し、子どもたちが主体になり、活動している中学校が市内にある。その姿を見たとき、部活動の地域移行に関する意見も、子どもたちに聞くのが良いのではないかと感じた。子どもたちを行政に巻き込み、子どもたちに決めてもらうのである。また、市に関わることで、子どもが行政について興味を持ち、行動力のある子どもが将来の下野市を担ってくれると良いと感じた。

(石崎教育長)

部活動の地域移行について、今年度のB&G全国教育長会議の講演テーマが「地域の子どもは地域で育てる！子どもが主役の部活動改革」であった。それを受けて、先日の教育委員会事務局部内会議で話したのだが、例えば、文化部というと真っ先に吹奏楽部が思い浮かぶかと思うが、子どもたちが一番作ってほしい部活動は料理部だということである。料理部やeスポーツ部などは、現在、学校には部活動として存在していない。しかし、子どもたちが要望しているのであれば、既存の部活動に囚われず、地域でそういった活動の場を作らなくてはならないという話をした。

また「部活動の地域移行」と考えると難しく感じるため、「地域に返す」という視点で考えるべきである。実際に、とある市では、部活動廃止から検討が始まっているとのことである。地域の中で「私は料理部ができる」「この団体がこういった部活動を担える」「こういった子どもの面倒を見られる」といった形で、地域で責任を取るのである。難しい部分もあるかと思

うが、このような形で、部活動の地域移行に関しては固定観念を改め、地域を前面に出し、子どもたちの意向をしっかりと確認し、実際の活動場面では子どもたちに動いてもらって進めなくてはならないと考えている。

(佐間田委員) 指導者等については、私たちよりも子どもたちのほうが良く知っているかと思う。

(石崎教育長) そういった部分は子どもたちが考えた方が、早く結論が出る場合もある。

(川田委員) 子ども未来プロジェクトは、生徒会役員が行うものなのか。

(佐間田委員) 確かに、生徒会以外に参加したい生徒がいれば、参加させてあげてほしいと思う。

(川田委員) 生徒会が必ず未来プロジェクトに関わっていくのか、それとも学校で参加者を募るのか、こういった形になっているのか教えてほしい。

(石崎教育長) 本日、学校教育課長が不在のため、子ども未来プロジェクトについては、次回の教育委員会定例会において回答してよろしいか。(全委員承認)

他に教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、以上でよろしいか。(全委員承認)

(平野教育総務課課長補佐) 次回の教育委員会定例会は、令和5年12月20日(水曜日)午後1時30分から、303会議室で開催を予定している。

9. 閉会

(石崎教育長) 以上をもって、令和5年度第8回教育委員会定例会を閉会する。

(午後4時15分閉会)

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人